

News Release



令和6年11月6日

各報道機関文教担当記者 殿

— 科学技術イノベーションを牽引する次世代の傑出した人材を育成する — 高校生が研究成果を発表 金沢大学STELLAプログラム

金沢大学では、北陸三県の小学生高学年、中学生および全国の高校生を対象に、次世代の科学技術イノベーターを育成する金沢大学STELLAプログラム(次世代科学技術チャレンジプログラム) (※) を提供しています。

令和5年8月から開始した新プログラムにおいて、石川、福井、富山、新潟、長野、岐阜の6県の高校生13名は、それぞれの興味分野である機械科学、物質化学、生物学、医学、環境科学等について、金沢大学などの指導教員の下で数か月にわたり課題研究を行ってきました。今回実施する研究成果発表会では、その集大成を披露します。

また、今回発表する高校生は、金沢大学STELLAプログラムシニアコースのCステージからD1ステージに進んでおり、同日はD1ステージの閉講式も併せて行います。

ついては、下記のとおり研究成果発表会および閉講式を開催しますので、当日の取材・報道をよろしくお願ひします。

金沢大学STELLAプログラム次世代科学技術チャレンジプログラム 第I期シニアコースD1ステージ受講生研究成果発表会および閉講式

日時： 令和6年11月9日(土) 10:30~15:05
場所： 金沢大学自然科学5号館2階大講義室(金沢市角間町)
概要： 10:30~14:55 研究成果発表(途中休憩あり)
14:55~15:05 閉講式

※詳細は別添資料をご参照ください。

※10:00~14:30に随時会場までお越しください。

来場の際は、まず会場受付にて取材である旨お知らせください。

※「次世代科学技術チャレンジプログラム」

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)がこれまで実施してきたグローバルサイエンスキャンパス(GSC)とジュニアドクター育成塾を発展的に統合し、小中高校生を対象とした長期的かつシームレスな育成プログラムで、本学は令和5年6月に実施機関として採択されました。採択企画名は、「小中高大院混成プログラムによる未来の課題を探究・克服する科学技術イノベーターの育成」です。

Webサイト：<https://www.jst.go.jp/cpse/stella/>

<本件照会先>金沢大学STELLAプログラム事務局 中平

Tel: 076-234-6860

E-mail: gsc@adm.kanazawa-u.ac.jp



金沢大学 STELLA プログラム

「小中高大院混成プログラムによる未来の課題を探究・克服する
科学技術イノベーターの育成」

金沢大学 STELLA プログラム第 I 期シニアコース D1 ステージ 研究成果発表会・閉講式

【日 時】 令和6年11月9日（土） 10:30～15:05
（受付：10:00～10:30）
【会 場】 金沢大学 自然科学5号館2階 大講義室
【実施形態】 対面及びオンライン併用のハイブリッド方式

- | | |
|---|-------------|
| 1. 事務連絡・実施要領確認 | 10:30～10:40 |
| 2. 成果発表 | |
| 第1グループ（5名） | 10:45～11:48 |
| 昼食（62分） | |
| 第2グループ（4名） | 12:50～13:40 |
| 休憩（10分） | |
| 第3グループ（4名） | 13:50～14:40 |
| 講評 | 14:40～14:50 |
| 3. 閉講式 | 14:50～15:05 |
| 本田 光典 金沢大学 STELLA プログラム実施主担当
学長補佐（入試・学生募集・高大院接続・大学院改革担当） | |
| 4. 事務連絡・記念撮影・解散 | 15:05～15:15 |



背景・目的



背景 現代の子供：ネット上に溢れる情報を基に物事を捉えることが多い。

自ら考え、問題の解決方法を探究する力が低下

イノベーションを起こす人材の不足、科学技術立国日本の存続の危機



目的 個人の高い意欲や資質を発掘し伸ばす取組みを金沢大学で実施

1. 本学のジュニアドクター育成塾(JD：小中型)とグローバルサイエンスキャンパス(GSC：高校型)を融合・改新し、**金沢大学STELLAプログラムへ進化**

金沢大学STELLAプログラム



2. 蓄積したノウハウを広く小中高校へと展開

ジュニアドクター
育成塾



科学・技術を理解・駆使して自ら課題を発見し、主体的に解決方法を探究できる傑出した人材を育成



金沢大学の強み・実績とプログラムの特徴



金沢大学の強み・特徴

- ▶ 地域と世界に開かれた教育重視の研究大学
- ▶ 全学的なグローバル化(SGU)
- ▶ 文理融合型のSTEAM教育を拡充(知識集約)
- ▶ 世界トップレベルの研究拠点の形成
- ▶ 高大院連続型支援システムの構築

本学のJD、GSCの実績・特徴

- ▶ 多くの修了生を輩出
- ▶ 15名の継続、9名が両方を修了
- ▶ 発表、受賞、投稿で高い実績
- ▶ 国公私立大学への進学

JD, GSCの実績

JD (H29-R3, R4)		15名接続	GSC (H28-R1, R2-R5)	
第一段階	183名		第一段階	317名
第二段階	43名	第二段階	116名	
		9名修了		

文部科学大臣賞：2件
全国レベルの賞：11件
県レベルの賞：36件
その他の賞：35件

国際学会等英語発表：26件
英語投稿論文掲載：3編
国内学会

最優秀賞・奨励賞：10件
JSEC花王奨励賞：1件
発表：22件

GSC全国研究発表会
優秀賞・投票賞：6件
科学技術フェイト予選：7件

STELLAプログラムの特徴

- ① 科学に関連する高度で幅広い分野をカバー
- ② 真の科学研究の進め方・考え方を修得
- ③ 小中高大院接続による研究者への歩み
- ④ 立場を超えたグローバルなコミュニケーション力を修得
- ⑤ 早期に好奇心・自発性を発掘し、長期育成により、能力を最大に伸長



プログラムの概要



JD + GSC

➔ 金沢大学STELLAプログラム



シニアコース
高校生対象

D1ステージ

D2ステージ

- 発展的研究活動
- 国際学会への挑戦



- 大学での研究実践
- 研究成果の発信

Cステージ

- 科学者基礎講座
- 研究テーマの精緻化



ジュニアコース
小中学生対象

Bステージ

- 個人研究

Aステージ

- 対面講座
- オンライン講座



育てたい人材像と持つべき資質・能力



小中学生に求める3つの能力(I, II, III)を
高校生では7つの能力に発展・拡大。

未来の科学技術
イノベーター

小中学生育成プログラム
ジュニアコース

I
知識
技能

自ら科学・技術に対して
課題意識を持ち、主体的に
実社会での問題を発見し、
分野横断的に解決を行い
探究する人材

III
主体性
探究力

II
思考力
発想力
活用能力

大学院進学まで見据えた
「簡単にへこたれない
尖ったキワモノ」

I
基礎

III
主体的
探求

科学・技術を
理解・駆使しながら、
文系・理系といった枠に
とらわれず主体的な課題
の発見・解決や社会的な
価値の創造に結びつけて
いく方法を探究できる
人材

II
俯瞰

II
国際

II
独自の
発想

II
跳躍

高校生育成プログラム
シニアコース

